

The Japan Foundation Asia Center Session Innovative City Forum 2018

「都市とライフスタイルの未来を描く」をテーマに、
国内外の有識者が集い、東京をはじめとする都市の未来について議論する
国際フォーラム Innovative City Forum 2018 にて、
国際交流基金アジアセンターセッションを開催します。

(セッション
テーマ)

見えない価値のみつけた
Discovering Hidden Values



Innovation for Happiness from ASIA

2018年10月20日(土) Saturday October 20, 2018

会場: 六本木アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)

2018年10月18日(木)ー20日(土) 全3日間のうち、**DAY.3**(10月20日) に開催するトークセッションのご案内です。

主催: 森記念財団都市戦略研究所、森美術館、アカデミーヒルズ

共催: 国際交流基金アジアセンター、MITメディアラボ 協力: 世界経済フォーラム、国際文化会館、ロフトワーク、黒鳥社

Organized by: Institute for Urban Strategies - The Mori Memorial Foundation, Mori Art Museum, Academyhills

Co-organized by: The Japan Foundation Asia Center, MIT Media Lab

Supported by: The World Economic Forum, International House of Japan, Loftwork, blkswn publishers

事前申込制

ASIA
center
JAPAN FOUNDATION

国際交流基金
アジアセンター

Innovation for Happiness from ASIA

－見えない価値のみつけかた Discovering Hidden Values－

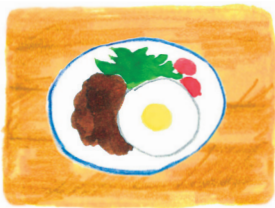
幸せの定義が変化している今、本質的な豊かさに気がつくことが未来へのヒントです。

次の生き方をどう描くかは、人々の幸福感につながっています。

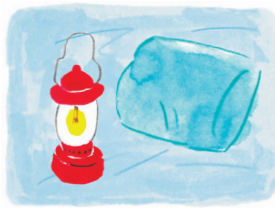
アジアには可視化されず、ことは以前の価値や魅力がたくさん息づいています。

本フォーラム10月20日(DAY.3)で、3つのトークセッションとキーノートをもとに、これからの幸せについて一緒に考えてみませんか。

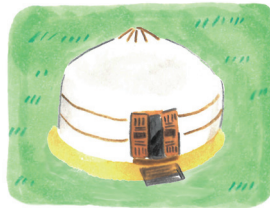
食べる | EAT



眠る | SLEEP



住まう | LIVE



Innovative City Forum

Innovative City Forumとは、「都市とライフスタイルの未来を描く」をテーマに、先端技術から都市計画、アートなど専門家が国内外から集結し、参加者とともに議論を交わすフォーラムです。

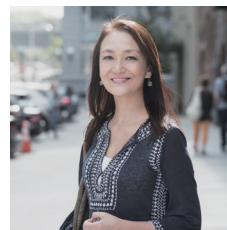
12:30-12:45 オープニング・セッション | Opening Session

12:50-13:30 キーノート | Keynote

「映像表現におけるシネマ・ランゲージ」 “The Language of Cinema in Film-making”

独特の映像手法により、観る者の五感を刺激し、観客の感性に静かに訴えるトラン監督の映画作品は、「シネマ・ランゲージ(映画は言語である)」という自身の持論を見事に体現しています。日常に潜む見えない価値を可視化する映像表現を持つトラン監督と、人々の無意識を映像化する佐々木監督が、未来に繋ぐメッセージについて語り合います。

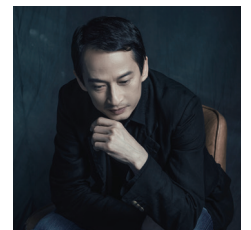
総合モデレーター



佐々木芽生

Megumi Sasaki
ドキュメンタリー映画監督
プロデューサー

キーノート・スピーチ



トラン・アン・ユン

Tran Anh Hung
映画監督

13:40-14:40 Session ①「食べる | EAT」

「古来の食から最先端の味覚までを探検」



ドゥアンチャイ・
ロータナワニット

Duangjai Lorthanavanich
タマサート大学ビジネススクール 副学部長

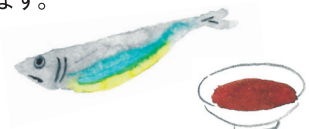


小倉ヒラク

Hiraku Ogura
発酵デザイナー

“Exploring around Cuisine from Ancient Times to Cutting-edge Trends of Taste”

食というキーワードから見えてくる、アジアの人々の暮らしと営みには、私たちが把握しきれていない魅力が詰まっています。食べる行為だけでなく、食べることを共に楽しむ場から、人と人とのコミュニケーションを繋ぐための、未来の味覚を探検します。



14:50-15:50 Session②「眠る | SLEEP」

「古今東西、眠りの不思議を掘り起こす」

“Wonder of Sleep:
From All Ages and Cultures”



私たちは、人生の約1/3を睡眠に費やしていますが、睡眠には未だ多くの謎が眠っています。時代や場所により「眠り」や「夢」の捉え方に違いがあり、その背景には環境や文化が大きく影響しています。「眠り」を紐解くことは、逆説的に現代を生きている時間に意識を向けることでもあります。世界各国・古今東西における人類の「眠り」をとおして、明日をぐっすり眠るためのヒントを掘り起こします。



重田 眞義

Masayoshi Shigeta
京都大学アフリカ地域研究資料センター長
NPO法人睡眠文化研究会理事



ポポ・ダネス

Popo Danes
建築家



16:00-17:00 Session③「住まう | LIVE」

「人とのつながりを育む、居場所の未来」

“Future of Our Places-to-Be:
Knitting Ties among Residents”



**チャットポン・
チューンルディモン**

Chatpong Chuenrudeemol
建築家／チャット・アーキテクト代表



土谷 貞雄

Sadao Tsuchiya
暮らし研究室／株式会社貞雄代表



東南アジアにみられる熱帯・亜熱帯地域の気候における風土的建築物には、近代建築で主流である住まいと異なる価値観を見つけることができます。自然と共生し、エネルギーを極力使わず、現代の技術とも融合しながら無名の工匠たちによって、工夫されてきた住まいのあり方。新しい時代へ移行する中で、未来に向けてどんな居場所を創造すべきか、皆さんと共に考えます。

17:10-18:00 ラップアップ＆ネットワーク
Wrap-up and Network Gathering

同時代に生きて、せつかく、この場に集まったのです。よろしかったら、会場内の誰かに話かけてみてください。あなたとは違うアンテナを持つ人々がいるかもしれません。会場では、ベッド職人のチンパンジーから学んだ「人類進化ベッド」も体験いただけます！



撮影：座馬耕一郎
撮影場所：タンザニア マハラ山塊国立公園



人類進化ベッド
(株式会社イワタ)



2018年10月20日(土) 12:00開場(12:30から18:00まで)
会場：六本木アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー49階)
参加費：アジアセンター・セッション(DAY.3)のみ2,000円(税込)
定員：250名(事前申込制)
〈申込先〉<https://eventregist.com/e/icf2018>
〈イベントサイト〉<https://jfap.jp/culture/events/e-icf-2018/>
言語：日英同時通訳

Date: October 20 (Sat), 2018 12:30-18:00
Venue: Roppongi Academy Hills Roppongi Hills Mori Tower 49F,
6-10-1 Roppongi, Minato-ku, Tokyo 106-6149
Admission Fee: DAY.3 session (The Japan Foundation
Asia Center session): 2,000 yen (tax incl.) Venue capacity: 250
〈Registration〉https://eventregist.com/e/icf2018_en
〈Events URL〉<https://jfap.jp/en/culture/events/e-icf-2018/>
Language: English-Japanese simultaneous interpretation

東京メトロ日比谷線「六本木」駅1C出口より徒歩3分(コンコースにて直結)